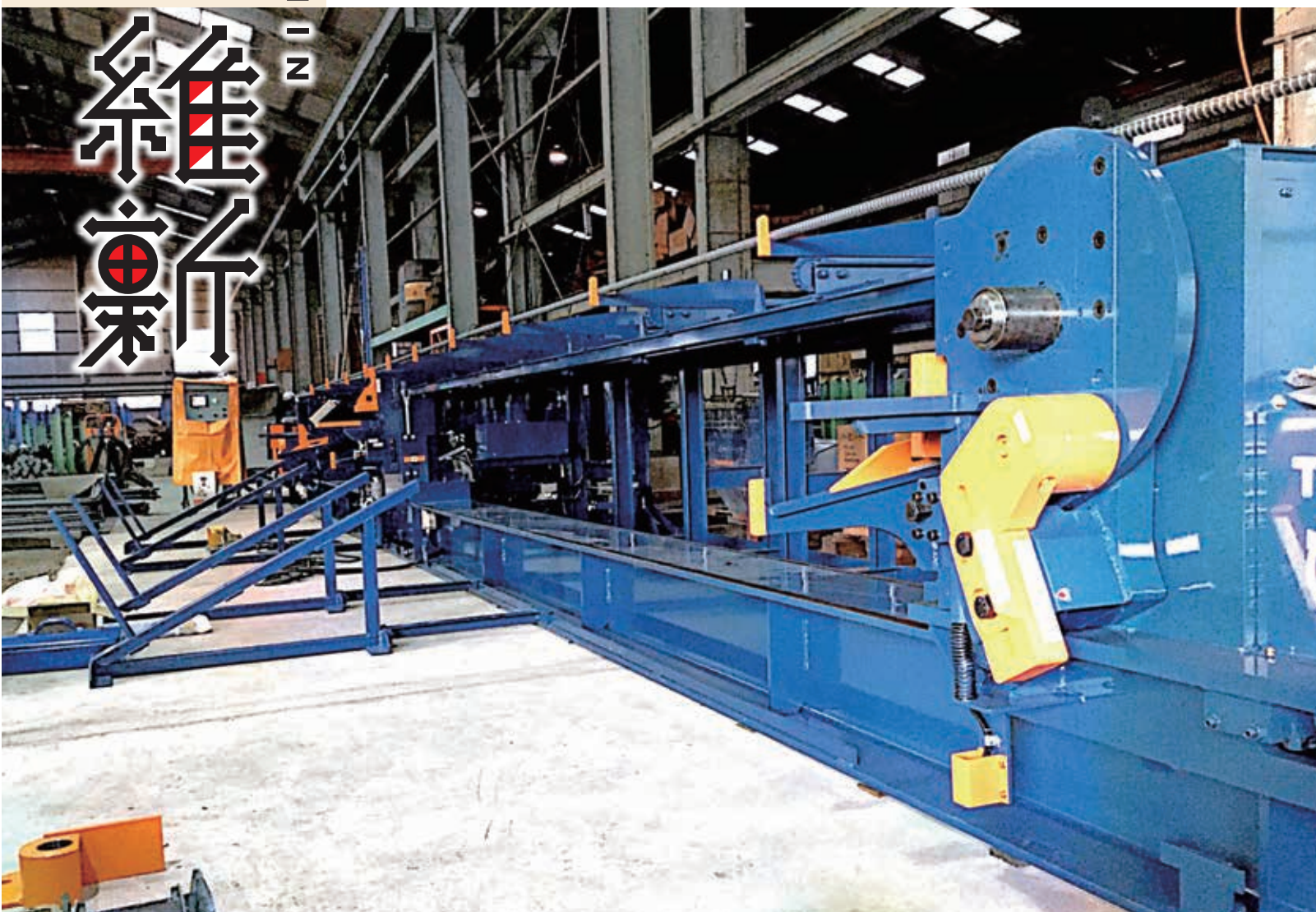


鉄筋加工における主筋自動曲げ装置を導入し、 作業工程の短縮化と品質・生産性向上による競争力強化

弊社は鉄筋専門業である。構造物の要が鉄筋でありその中で、主となるのが主筋と呼ばれる部材である。震災後、耐震に対する規制が強化され、建物の構造も複雑化している。これに対応するため、主筋自動曲げ装置を導入することにより、大幅なコストダウンを図り、品質・生産性向上を行う。



主筋自動曲げ装置 TBM-41-1AS

事業のきっかけや目的

鉄筋構造物の複雑かつ過密度が増すほど、加工工程に人と時間がかかり納期に遅れが生じる。そこで鉄筋加工における自動曲げ機を導入して加工工程を簡素化し、工場ライン化と作業時間の短縮・品質・生産性向上を図る。作業時間の短縮及び品質・生産性の向上のため、切断から曲げ加工までをライン化して、納品までをスムーズに行えるように改善する。

事業の取り組み内容と成果

自動曲げ機を導入したことで、曲げ加工工程を55%短縮させることができた。なかでも、2~3名必要としていた作業員が1~2名で可能となったことで、他の作業または現場施工に人員を送れるようになった。曲げ加工において熟練工でなくても精度の高い部材が作れるようになり、若手担い手不足の解消に繋がっている。

事業化に向けての今後の取り組み

主筋自動曲げ機を導入したことで、曲げ加工にかかる人員減少・時間短縮・精度向上を図ることができた。今後はQRコードを利用し加工をデータ化させ鉄筋切断から出荷管理まで一括して行うことができる他に例のないトータル管理システムを考案・導入予定である。



自動切断機作業状況



自動曲げ加工状況



加工製品

S・U・Z・U・I・S・H・I・N

技術力・機動力・チームワークを大切に

切る・曲げる・組み立てるという精度の高い技術が求められる鉄筋加工。そこに新技術と職人の知恵、工夫を合わせ、技を磨きます。コンクリートに覆われれば見ることのない建物、橋梁など構造物の基礎部分の支持力・強度・耐震など各面から支える仕事に誇りを持てる企業でありたいと考えています。技術力・機動力・チームワークを大切にしています。

企業 DATA

昭和55年に創業。当社は霧島市を拠点とし、県内一円の鉄筋加工から現場施工をしている。戸建て住宅基礎からマンション・学校・橋梁・高速道路と幅広く手掛けている。社員一人一人が社会的責任を認識できるよう育成・指導を実施し、お客様の信頼を得られる会社づくりを心掛けている。



事業 者	株式会社薩摩鉄筋工業
代 表 者	代表取締役 中山 太郎
設立年月日	昭和55年5月30日
所 在 地 等	〒899-4303 霧島市国分川原1066番地 TEL 0995-46-2238 FAX 0995-46-2245 E-mail satsuma1980@forest.ocn.ne.jp URL http://satsumatekkin.jp/
資 本 金 額	1,000万円
従 業 員	19名
業 種	職別工業業